

放射線機器管理士 資格更新申請書

申請日： 2022 年 月 日

公益社団法人日本診療放射線技師会長 様

資格認定番号：

施設名：

本会会員番号：

※非会員の場合は不要

氏名：

私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

※必ずチェックを記入してください。

e-learningによる更新講習会の受講ならびに確認試験を受験することにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。

1. 申請内容

種別	項目	2017	2018	2019	2020	2021	付与カウント
I 管理実績(1) (資料添付)	1 日常安全点検管理						1項目につき10/年 2項目以上でも年 20カウントまで ※ただし、1.日常 安全点検管理の み場合は年15 カウントとする。
	2 保守管理						
	3 機器選定						
	4 許認可申請						
	5 保守管理契約						
	6 保守安全管理マニュアル作成						
	7 受入試験						
	8 新規購入装置の仕様評価						
	9 医療機器安全性情報の提出						
	10 施設内教育訓練実施(障害防止法上の教育訓練は除く)						
	11 施設外機器管理技術指導実施						
	12 医療機器安全管理PR活動						
	13 医療監視員として立入検査を行った場合						
	14 医療機器安全管理責任者(選任)						
管理実績(2) (資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者						20/年
II 研修実績 (資料添付)	1 放射線機器管理士分科会活動(都道府県部会活動でJARTが生涯教育カウントを付与しないものに限る)						1/時間
	①講習会等参加						
III その他 (資料添付)	1 放射線機器故障・事故調査協力						10/年
	その他						
注) 添付資料が必要な項目は、不備により実績カウントが無効にならないようご注意ください。							計

2022年9月末日(当日消印有効)までにご提出ください。

放射線機器管理士 資格更新申請書

申請日： 2022年 8月 10日

公益社団法人日本診療放射線技師会長 様

資格認定番号：	205
施設名：	日放病院
本会会員番号：	99999
※非会員の場合は不要	
氏名：	日放 一郎

私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

- e-learningによる更新講習会の受講ならびに確認試験を受験することにより、資格更新をいたします。
- 以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。 ※必ずチェックを記入してください。

1. 申請内容

種別	項目	2017	2018	2019	2020	2021	付与カウント					
I 管理実績(1) (資料添付)	1 日常安全点検管理	レ	1	レ	3	レ	5	レ	6	レ	7	1項目につき10/年 2項目以上でも年20カウントまで ※ただし、1.日常安全点検管理のみの場合は年15カウントとする。
	2 保守管理											
	3 機器選定											
	4 許認可申請											
	5 保守管理契約											
	6 保守安全管理マニュアル作成											
	7 受入試験											
	8 新規購入装置の仕様評価	レ	2									
	9 医療機器安全性情報の提出											
	10 施設内教育訓練実施			レ	4			レ	8			
	11 施設外機器管理技術指導実施											
	12 医療機器安全管理PR活動											
	13 医療施設の医療監視を行った場合											
	14 医療機器安全管理責任者の証明											
							この欄は記入しないでください					
管理実績(2) (資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者						20/年					
								この欄は記入しないでください				
II 研修実績 (資料添付)	1 放射線機器管理士分科会活動(都道府県部会活動を含む)											
	①講習会等参加	3	9	3	10	3	11	1/時間				
							この欄は記入しないでください					
III その他 (資料添付)	1 放射線機器故障・事故調査協力						10/年					
	その他											
							この欄は記入しないでください					

注) 添付資料が必要な項目は、不備により実績カウントが無効にならないようご注意ください。 計

2022年9月末日(当日消印有効)までにご提出ください。

申請内容の記入方法<記入方法(記入例をご参照下さい)>

更新講習会および試験による更新を希望するか、書類申請による更新を希望するか必ずチェック(✓)してください。

I 管理実績(1)について

- ※ 内に申請する項目をチェック(✓)し、✓の右欄に添付資料の番号を記入してください。
- ※ 添付資料には必ず、資料番号を付けてください。
- ※ 添付資料は必須です。

I 管理実績(2)について

- ※ 内に申請する項目をチェック(✓)してください。
- ※ 添付資料は不要です。

II 研修実績について

- ※ 内に申請する時間数を記入し、その右欄に添付資料の番号を記入してください。
- ※ 添付資料には必ず、資料番号を付けてください。
- ※ 添付資料は必須です。

III その他について

- ※ 内に申請する項目をチェック(✓)し、✓の右欄に添付資料の番号を記入してください。
- ※ 添付資料には必ず、資料番号を付けてください。
- ※ 添付資料は必須です。

添付資料について

I 管理実績(1) 当該装置の検査ならびに管理に関わった実績を証明するものを添付すること。

- 1 日常点検(始業・終業点検)の実績。
 - ・申請者の名前が確認できる資料を添付すること(名前が読めるようにしてください)
 - ※点検ファイルすべてをコピーする必要はありません。ご自分の名前がある月の点検票で結構です。
 - ・点検で異常がないチェックが記入されていること
 - ・記入されていないフォームだけを添付しても認めません。
- 2 機器管理計画に基づいた年間の定期点検の実績内容とその分析。メーカーからの点検報告書のみの提出は不可。
- 3 新規購入装置における装置の総合評価。
- 4 文部科学省、都道府県、保健所等への許可申請書の作成に携わったことの証明。
- 5 保守契約に至るまでの検討資料と契約内容の提出。
- 6 保守安全管理マニュアルには、以下の3項目が必須事項として記載されていること。その写しを添付すること。
 - ・実務に即した内容であること。
 - ・装置の安全管理についてふれていること。
 - ・内容が常に改訂され、その記録が残されていること。
 - ・内容を改訂した場合は、日付と内容を記載すること。
 - ・メーカーの保守マニュアルを添付しても認めません。
- 7 受け入れ試験の実績記録。その写しを添付のこと。
- 8 新規購入装置における装置の総合評価。性能、デザイン、操作性などを評価項目とすること。
- 9 安全性情報受領確認書の写しを添付すること。その他、情報収集、管理、不具合報告も含みます。医薬品医療情報提供HP:<http://www.info.pmda.go.jp/>
- 10 保守管理等に関する外部からの受け入れ・施設内の企画・立案実施等。プログラム等添付。参加のみは不可。機器管理に関するものだけが申請対象です。(障害防止法の教育訓練は含みません)
- 11 施設外での技術的な指導。実績が分かるものを添付すること。
例)放射線技師が働いていない診療所等の放射線機器の保守管理。診療所を対象とした機器管理相談窓口の開設。(機器管理・安全管理・故障等の対応)
- 12 レントゲン週間、市民公開講座などのイベントにおいて、医療機器の安全性や管理に関する内容についてのPR活動。実績が分かるものを添付すること。
- 13 医療施設の医療監視を行った場合。(保健所等の監視官を対象)
- 14 辞令の写しまたは施設管理責任者の証明が必要。

管理実績(2)

- 1 公益社団法人日本診療放射線技師会認定施設勤務者。添付資料は必要ない。
(在籍期間のみ実績としてカウントされる。非会員・異動などの場合は、在籍がわかるものを添付。)

II 研修実績

- ①修了証等添付すること。
- ②プログラム等添付すること。

III その他

放射線機器管理に関する上記以外の実績がわかるものを添付すること。個別に本会委員会で審査をしカウントを決定する。

種別	項目	カウント
I	管理実績(1)	1項目のみ10/年※ 2項目以上20/年 ※1.日常安全点検管理のみの場合は15カウント/年とする
	1 日常安全点検管理 2 保守管理 3 機器選定 4 許認可申請 5 保守管理契約 6 保守安全管理マニュアル作成 7 受入試験 8 新規購入装置の仕様評価 9 医療機器安全性情報の管理 10 施設内教育訓練実施(障害防止法上の教育訓練は除く) 11 施設外機器管理技術指導実施 12 医療機器安全管理PR活動 13 医療監視実績(保健所等の監視官を対象) 14 医療機器安全管理責任者(選任)	
	管理実績(2)	1 医療被ばく低減施設認定施設勤務者 20/年
II	研修実績	1 放射線機器管理士分科会活動(都道府県部会活動でJARTが生涯教育カウントを付与しないものに限る) ①講習会等参加 1/時間
III	その他	放射線機器故障・事故調査協力 別に定める 10/年

- I 管理実績(1) 当該装置の検査ならびに管理に関わった実績を証明するものを添付すること。
- 1 日常点検(始業・終業点検)の実績実績。
 - 2 機器管理計画に基づいた年間の定期点検の実施内容とその分析。メーカーからの点検報告書のみの提出は不可。
 - 3 新規購入装置における装置の総合評価。
 - 4 文部科学省、都道府県、保健所等への許可申請書の作成に携わったことの証明。
 - 5 保守契約に至るまでの検討資料と契約内容の提出。
 - 6 保守安全管理マニュアルには、以下の3項目が必須事項として記載されていること。その写しを添付すること。
 - ・ 実務に即した内容であること。
 - ・ 装置の安全管理についてふれていること。
 - ・ 内容が常に改訂され、その記録が残されていること。
 - 7 受け入れ試験の実施記録。その写しを添付のこと。
 - 8 新規購入装置における装置の総合評価。性能、デザイン、操作性などを評価項目とすること。
 - 9 安全性情報受領確認書の写しを添付すること。その他、情報収集、管理、不具合報告も含まれます。医薬品医療情報提供HP:<http://www.info.pmda.go.jp/>
 - 10 保守管理等に関する外部からの受け入れ・施設内の教育。プログラム等添付すること。放射線障害防止法上の教育訓練は該当しません。
 - 11 施設外での技術的な指導。
例)放射線技師が働いていない診療所等の放射線機器の保守管理。診療所を対象とした機器管理相談窓口の開設。(機器管理・安全管理・故障等の対応)
 - 12 レントゲン週間、市民公開講座などのイベントにおいて、医療機器の安全性や管理に関する内容についてのPR活動。
 - 13 医療施設の医療監視を行った場合。(保健所等の監視官が対象)
 - 14 辞令の写しまたは施設管理責任者の証明が必要。
- 管理実績(2) 1 公益社団法人日本診療放射線技師会認定施設勤務者。添付資料は必要ない。
- II 研修実績 ①都道府県技師会主催研修会でJARTが生涯教育カウントを付与しないものに限る、了証等添付すること。
- III その他 放射線機器管理に関する上記以外の実績。個別に本会委員会で審査し、カウントを決定する。
放射線機器故障・事故調査協力については年間1回以上のデータ協力を対象とする。

書式 1 (機器選定実績)

放射線機器選定実績 報告書

西暦 年 月 日

公益社団法人日本診療放射線技師会長 様

放射線機器管理士として、放射線機器選定に関する実務をおこなったので報告します。

施設名

所属

認定番号

技師会番号

氏名

装置選定年月日

選定装置名

上記の者は本施設に所属し、放射線機器選定業務に従事したことを認めます。

所属

役職

氏名

印

書式 2 (許認可申請実績)

許認可申請実績 報告書

西暦 年 月 日

公益社団法人日本診療放射線技師会長 様

放射線機器管理士として、放射線機器許認可申請に関する実務をおこなったので報告
します。

施設名
所属
認定番号
技師会番号
氏名
申請日
許認可申請内容

上記の者は本施設に所属し、放射線機器許認可申請業務に従事したことを認めます。

所属

役職

氏名

印

例1-1

始業点検記録 年 月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
装置の動作・安全性に関わる点検															
装置の品質・精度に関わる点検															
室内環境・清掃に関わる点検															
その他の点検															
点検者															

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
装置の動作・安全性に関わる点検																
装置の品質・精度に関わる点検																
室内環境・清掃に関わる点検																
その他の点検																
点検者																

備考	所属長	放射線機器管理士

例1-2

始業点検記録 一般撮影 年 月

		点検内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
動作・安全性 に関わる点 検	異音・異臭の確認	確認															
	コンソール上の表示確認	確認															
	保持装置の動作・安全確認	動作確認															
	寝台の動作・安全確認	動作確認															
	ケーブルの状態	確認															
品質・精度に 関わる点検	エージング	実施															
	照射野ランプの確認	実施															
	照射野・可動絞りの動作確認	動作確認															
	自動露出調整機構	確認															
室内環境・ 清掃に関わ る点検	操作室、検査室の温度・湿度	確認															
	装置の清掃	清掃・確認															
	検査室内の清掃	清掃・確認															
	酸素・吸引機の動作確認	動作確認															
その他の点 検																	
点検者																	

備考	所属長	放射線機器管理士

良好:○ 問題有り:× 問題解決:△(×・△:備考欄に要点記入)

例1-3

始業点検記録 TV 年 月

		点検内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
動作・安全性 に関わる点 検	異音・異臭の確認	確認															
	コンソール上の表示確認	確認															
	寝台の動作・安全確認	動作確認															
	天板の動作・安全確認	動作確認															
	手摺・足台の耐加重	確認															
	ケーブルの状態	確認															
品質・精度に 関わる点検	エージング	実施															
	照射野ランプの確認	実施															
	照射野・可動絞りの動作確認	動作確認															
	自動輝度制御装置	確認															
	自動露出調整機構	確認															
室内環境・ 清掃に関わ る点検	操作室、検査室の温度・湿度	確認															
	装置の清掃	清掃・確認															
	検査室内の清掃	清掃・確認															
	酸素・吸引機の動作確認	動作確認															
その他の点 検	バリウム注入器の動作確認	動作確認															
点検者																	

備考	所属長	放射線機器管理士

良好:○ 問題有り:× 問題解決:△(×・△:備考欄に要点記入)

CT 保守業務仕様書

1. 保守回数等

年 4 回の定期保守を行うものとする。また、故障等が発生した場合、甲の要請により、乙は速やかに復旧修理を行うものとする。

2. 不良部品の交換等

定期保守および随時保守において、部品交換の必要が生じた場合、50 万円未満の部品は無償で交換する。ただし、単価 50 万円以上の部品は、単価の 20%を有償とする。

※ 本契約には、下記機器の保守も含まれている。

(1) ●●●●●

- ・定期点検 年 1 回
- ・緊急保守サービス
- ・部品代

(2) ○○○○○

- ・定期点検 年 1 回
- ・緊急保守サービス
- ・Battery および部品代

3. 保守対象外品

- (1) 消耗品: X 線管球、ブラウン管等
- (2) 補用品: 患者固定帯等
- (3) 他社製品

4. 委託料の支払いは、年 4 回(定期保守履行確認毎)払いとする。

新規購入装置の仕様評価 報告書

年 月 日

公益社団法人日本診療放射線技師会長 様

新規購入装置の仕様について下記の評価を行ったので報告いたします。

氏名	_____	所属施設名	_____
技師会番号	_____	放射線機器管理士番号	_____
該当する項目にチェックもしくは記載して下さい			
装置区分： <input type="checkbox"/> 診断用 X 線装置 <input type="checkbox"/> X 線 CT 装置 <input type="checkbox"/> MRI 装置 <input type="checkbox"/> 核医学診断装置 <input type="checkbox"/> 超音波画像診断装置 <input type="checkbox"/> 放射線治療装置 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）			
仕様書作成年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日			
評価対象装置名①：	_____	形式名：	_____
評価対象装置名②：	_____	形式名：	_____
評価対象装置名③：	_____	形式名：	_____
評価対象装置名④：	_____	形式名：	_____
評価対象装置名⑤：	_____	形式名：	_____
評価項目（概要を抜粋すること）			

※評価の記録として仕様書等を別途添付すること